

# 外国籍児童・保護者向け入学ガイドブックの概要

## 「外国籍児童・保護者向け入学ガイドブック」とは

- 外国人保護者および児童が、円滑に就学前の準備や学校生活への対応ができるよう、日本の習慣や学校生活等をわかりやすくまとめたもの。【もうすぐ 1 年生の外国語版のイメージ】

## 背景・方針等

### 背景

- 区では、外国人の増加率が他区と比較して高い。(2 年度 4 位)
- 外国人の保護者が就学にあたって準備すべきことが不明
- 令和 2 年度のヒアリング調査によれば、日本の文化や習慣を知らずに来日してくるケースが多く、学校でも対応に時間を要している。

### 目的・方針

- 「教育・子育て大綱」の取組の視点 3・重点施策 2「さまざまな家庭環境で育つ子どもたちへの支援」で『外国人児童・生徒が教育を適切に受けられるよう、児童・生徒およびその家庭への支援を充実します。』と明記している。
- 各学校(園)長から構成される幼保小連携推進協議会においても、外国人児童および保護者に対する区からの支援を要望されている。

### 必要性

- 入学の準備・日本の小学校生活等を記載し、外国人児童・保護者の円滑な入学準備の支援を行う。
  - 幼稚園・保育所等での活用を図ることにより、小学校(教職員等)の外国人児童への対応の負担軽減にもつなげていく。
- ➔ 外国籍児童・保護者向け入学ガイドブックを作成・周知する。

## 各言語の必要性

【外国人在籍者数】

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
中国	韓国	フィリピン	ベトナム	ネパール

《中国語》在籍児童が一番多く、ほぼ全校に在籍している。

《韓国語》光が丘地区に韓国児童が特に多く、在籍児童が 20 名を超える学校も数校ある。

《英語》フィリピンなど母国語でなくとも英語を理解できる外国人は多く、汎用性が高い。

➔ 以上の 3 か国語版を作成する。なお、原稿はやさしい日本語でデータ配信(教職員用)

## 掲載内容

- 小学校に入るまでの流れ
- 小学校の 1 年・行事
- 小学校の 1 日
- 小学校で勉強すること
- 特別支援教育について
- 学校が終わってから(放課後)
- 給食について
- 子どもの健康・保健
- 小学校に入るまでに家ですること(一人でできますか)
- 保護者の役割(保護者がすること)
- 学校からの連絡 ○ 学校への連絡
- 学校に持って行ってはいけません
- 学校に払うお金(学校徴収金)
- 就学援助
- 学校で使うもの
- 子どもの日本語の勉強
- 通訳ボランティア ○ 外国語相談
- 困ったときに相談しましょう

## スケジュール

令和 4 年 1 月～ 所管課との確認

令和 4 年 1 月下旬 幼保小連携推進協議会に素案報告

令和 4 年 2 月上旬 事業者に原稿翻訳依頼

令和 4 年 2 月中旬～3 月上旬 事業者翻訳版の確認・校正(地域振興課相談員に確認依頼)

令和 4 年 3 月下旬 印刷・製本 文教児童青少年委員会・教育委員会報告(口頭)

令和 4 年 4 月上旬 HP 掲載・配布

## 周知方法等

- 作成言語  
中国語・韓国語・英語
- 印刷部数  
各言語 1000 部  
合計 3000 部  
※やさしい日本語版を含めてデータ版でも提供する。
- 配付先  
小学校  
区立幼稚園  
区立保育所  
私立幼稚園  
私立保育所  
学務課  
学校教育支援センター